

経営を加速させる「クリエイティブな知財部」への転換：ダイキン工業の挑戦に学ぶ

【課題と転換】 早期伴走：開発・事業の初期段階から介入

知財部の再定義：受託部門から創造的組織へ
技術・法律・ビジネスを統合し、事業にとって望ましい
市場構造を自ら設計する。



発明の磨き込みやポートフォリオ設計、
M&A検討を初期から支援する体制を構築。



発明の磨き込みやポートフォリオ設計、
M&A検討を初期から支援する体制を構築。



「特許件数」から「事業仮説」への視点変更
保有数ではなく、どの事業仮説に何の権利・情報が
必要かで優先順位を判断する。

クリエイティブな知財部
(事業成長を牽引)

【実践戦略】 成長を支える3つの柱

オープン/クローズ戦略の両立

R32冷媒の無償開放による市場形成と、参入
障壁となる特許網での防御を使い分ける。



無償開放

特許網

参入障壁

知財インテリジェンスとAIの活用
特許構想を可視化し、経営や現場が資源配
分を議論するための「共通言語」に変える。



意思決定の迅速化



共通言語化

組織文化：相談が自然に
生まれる関係性

専門知識に加え、事業の意図を汲み取
り合意形成できる「現場に強い人材」
を育成する。



現場に強い
人材育成



合意形成